

平成 2 5 年 5 月 13 日 開会

平成 25 年度第 2 回教育委員会定例会会議録

垂水市教育委員会

| 件名 | 提案理由 | 審議の状況 | 採決の次第 |
|---------------------------------------|--|--------|-------|
| 議案第16号 平成25年度垂水市奨学資金奨学生 の決定について | 平成25年度垂水市奨学資金奨学生を決定しようとするものである。 | 特記事項なし | 承認 |
| 議案第17号 平成25年度垂水市地区公民館長・主事の任命について | 平成25年度垂水市地区公民館長・主事を任命しようとするものである。 | 特記事項なし | 承認 |
| 議案第18号 垂水市教育委員会外部評価委員の委嘱について | 垂水市教育委員会外部評価委員を委嘱しようとするものである。 任期：2年 | 特記事項なし | 承認 |

平成25年度第2回教育委員会定例会出席者

| 日時及び場所 | 出席者 | |
|---|--|--|
| <p>平成25年5月13日（月）</p> <p>午後3時00分</p> <p>↓</p> <p>午後4時20分</p> <p>小会議室</p> | <p>教育委員長 橋口 敬二</p> <p>教育委員 野村 繼治</p> <p>教育委員 田原 正人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育長 長濱 重光</p> | <p>教育総務課長 川畑 千歳</p> <p>学校教育課長 牧 浩寿</p> <p>社会教育課長 瀬角 龍平</p> |

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成25年度第2回教育委員会定例会を開会した。
議案第16号から議案第18号まで3件とも非公開で審議する旨、委員長から発議があり、全会一致で議決された。

2 平成25年度第1回教育委員会定例会会議録の承認

承認

3 委員並びに教育長及び課長報告

4 議 事

議案第16号 平成25年度垂水市奨学資金奨学生の決定について
議案第17号 平成25年度垂水市地区公民館長・主事の任命について
議案第18号 垂水市教育委員会外部評価委員の委嘱について

5 その他

垂水市教育委員自己点検・評価票の作成について
各種会議の出席案内

6 閉 会

議事内容等

| | |
|--------------|---|
| 3 報 告 | 委員及び教育長及び課長報告 |
| 委員長 | 教育委員、教育長及び各課長の報告をお願いします。 |
| 野村委員 | 4月22日、県教育行政説明会において、県教育委員会と市町村教育委員会との連携及び本県教育行政の円滑な推進を図るため、平成25年度の重点施策、主要事業等について説明を受けた。 伊佐市教育委員会は、2013年度から家庭学習の時間確保のために毎週水曜日をノー部活デーと定めた。部活動で平日の学習時間が少ないことから、4中学校の学力向上が目的である。本市では話題や機運があるのか。 |
| 田原委員 | 学校を訪問して、直接聴いたことはない。 |
| 中谷委員 | 子どもが部活をしている。土曜、日曜に試合や練習があると疲れてしまい、学習時間の確保は難しいと聞いた。 |
| 学校教育課長 | ノー部活デーについて学校は認識している。全ての部活を一律に休むことにはなっていない。各部活の指導者に任せてある。 |
| 教育長 | 平成18年度から県教育委員会もノー部活デーを週に1回は設ける取組を始めた。当時は守られていたが、最近薄れてきたのが実態である。高体連や中体連もノー部活デーを守るよう指導をしている。部活動を熱心にするあまり、特に月曜日の朝、子ども達が疲れ切って授業に集中できないことがある。精選された大会のみならずでもないのだが、種目によっては冠大会が多過ぎる。本市の実態は調べてみる。 |
| 野村委員 | 指導者によっては、「もうちょっと」というふうになっていることもあるのではないかと。伊佐市が一律にしたのは、指導者任せではうまくいかなかったからのようだ。反対意見もあると思う。試合前1週間は例外もあるようだ。 |
| 社会教育課長 | スポーツ少年団は、土曜、日曜に試合が組まれている。社会教育課や地区公民館の行事と重なると聞いている。ノー部活デーの設定は、スポーツの在り方に一石を投じた。 |
| 委員長 | 部活動毎にノー部活デーを決めている例もある。試合前だからと、なあなあになることもある。スポーツ少年団は、小学校がタッチしないので難しい面もある。お願いの形でノー部活デーを設定して欲しい。 |
| 田原委員 | 県教育行政説明会に出席して、本県の教育行政の概要が良く理解できた。今後、資料を有効活用していきたい。教育長講話で、今年は信頼回復の年としたいと強調していた。学校が一步高い目標を立て、実現した時に信頼が生まれるとの話もあった。学校訪問で計画の中に、この教育長の思いがどの程度届いているか見ていかなければいけないと思う。 |

| | |
|--------|---|
| 田原委員 | <p>連休中に市内で開催されたカンパチ祭りや本城川かわ祭りの鯉のつかみ取り大会などの行事に参加したが、みんなが喜んでいて、素晴らしい行事であり、もっと宣伝すれば、参加者が増えると思う。</p> |
| 中谷委員 | <p>京都市在住の高校3年の息子から母の日に寄せてはがきが届いた。ふるさと垂水をいつも心に思っている。小学生、中学生時にあたたかい垂水を刻み込ませて、送り出したい。</p> <p>先日、給食センター調理技師との会話の中で、前日に翌日の打合せを行って、当日は分刻みで仕事をしていることに驚いた。中央中の先生から給食をしっかり食べる子どもは意欲も元気もあることや3年生は殆ど残食が無いとの話を聞いた。給食を作る職員のためにもしっかりと食べることが大事である。調理技師は仕事に支障が無いように体調管理もしっかりしておられる。</p> <p>小学校の教職員歓迎会に飛び入り参加した。以前、地区公民館長や主事も参加できるようお願いしたら、当日参加されていた。地域あつての小学校なのでうれしく感じた。</p> <p>生活している環境が安心であるかどうかで不登校に繋がるという話が保護者間で出た。生まれ持った様々な事情を子どもは受け入れるしかない。学校が手を差し伸べないといけないことがいっぱいあると思った。</p> <p>子どもの時、親からいっぱい種子を蒔かれた子どもは、大人になった時多くの種子を蒔ける。親から蒔いてもらえなかった子には、学校の先生との語りや部活で種子を蒔いて欲しい。不登校の子どもは、じっと家で耐えている子であり、夢が描けないと思う。先生と友達とのふれあいを作りたいとの思いから、活動を始めている。</p> |
| 委員長 | <p>給食残食の報告はされているか。</p> |
| 学校教育課長 | <p>定期的ではないが、学校給食週間に残食調べ等を行っている。極端な残食は無いと認識している。</p> |
| 教育長 | <p>4月のさわやかあいさつ運動の強調月間中、教育委員会事務局の3課は市民館前の交差点で立哨を行った。私は市内小・中学校の正門に立ち、通学風景を見たが、どの学校も良い挨拶ができていた。特に立ち止まって挨拶をしている学校が印象的であり、前教育長からの取組が確実に定着している。ある小学校では、強調月間の1週間、通学途上の横断歩道2カ所に教員が立って登校を見守っていた。校区外居住でも職員がこのような姿を見せることで、保護者等から信頼を得ることにつながると思う。又、地域の方が子ども達を毎朝2km以上引率して学校正門で校長に引き渡している学校もあった。改めて学校は地域住民に支えられて成り立っていると実感した。</p> <p>第24回本城川かわ祭りに参加したが、子どものけなげな姿を見ることができた。このような行事をこどもの日に実施してもらうことは、ふるさとを大事にする心の育成につながると思った。</p> |
| 教育総務課長 | <p>4月9日から5月12日までの主な行事等について報告。</p> |

| | |
|------------------|---|
| 学校教育課長 社会教育課長 | 併せて、6月12日まで今後の予定についてお知らせした。 |
| 野村委員 | ボランティア少年団はどのような活動を行うのか。 |
| 社会教育課長 | 土曜日に高齢者施設を訪問し、高齢者と触れ合ったり、プルタブ運動への参加、赤い羽根募金を行ったりする中で、ボランティアとは何なのかと 考え、身につける活動である。 |
| 野村委員 | 参加者は小学生から中学生までか。 |
| 社会教育課長 | 小学生から高校生までで班を作り、縦割りの団体活動を行う。年長者は 年少者の面倒を見て、年少者は年長者の指導を受ける教育集団を作っている。 垂水市のユニークな取組である。 |
| 教育長 | 毎年度、結団式と解団式を行っている。中には高校まで継続して活動する 子もいる。 |
| 野村委員 | 新城の文化財少年団は、新城小学校だけで結成しているのか。 |
| 社会教育課長 | 新城小学校の児童のみで結成している。 |
| 野村委員 | 他の小学校に類似の団体は無いか。 |
| 田原委員 | 水之上小学校に猿ヶ城緑の少年団がある。 |
| 野村委員 | 良い取組なので、他にも広がれば良い。 |
| 社会教育課長 | 牛根地区の3地区公民館を主体に、牛根っ子文化財探検隊の取組もある。 |
| 野村委員 | 良い取組であるので、充実させて欲しい。 |
| 中谷委員 | ボランティア少年団に入団する児童がおらず、学校側が強制的に入団させ た例がある。先生は関わらず、子どもは意味がわからず、結局、活動には 参加しないままであった。学校の先生は子ども達によく説明し、納得させ てから参加させて欲しい。 |
| 社会教育課長 | 学校は、当然ながら子ども達を納得させて送り出して欲しい。市校長研 修会、教頭研修会でも基本的な理念や考え方を説明している。 |
| 委員長 | 趣旨の徹底を図るようにはしていただきたい。 |
| 4 議 事 | 議案第16号 平成25年度垂水市奨学資金奨学生の決定について (非公開) |

| | |
|-------|--|
| | <p>議案第 17 号 平成 25 年度垂水市地区公民館長・主事の任命について (非公開)</p> |
| | <p>議案第 18 号 垂水市教育委員会外部評価委員の委嘱について (非公開)</p> |
| 5 その他 | <p>垂水市教育委員自己点検・評価票の作成について（資料に基づき説明） 各種会議の出席案内（肝属地区教育振興会総会など案内）</p> |
| 6 閉 会 | |